



Walk with Children

めぐろ



せいび

181号
2022年7月

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。

門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7章7節)

校長 シスター 小島 理恵

梅雨の時期、美しい彩りを見せてくれるアジサイの花が終わる前に、真夏の暑さが訪れたようなこの頃です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今この時も、地球上には明日の命の保障もなく、危険に脅かされる生活を余儀なくされている多くの方々がおられることを思うと、胸が痛くなります。この暑ささえ、ちっぽけな苦しみであると感じます。この方々に、一日も早く安心して生活できる日が訪れ、平和な世界・社会が実現しますようにと続けてお祈りしたいと思います。

私たちは、何の心配もなく平和な時間を過ごす時、それについて考えることはあまりありません。しかし、いざそれを失った時、「平和」がどれほど幸せで、どれだけ心にゆとりをもたらすものであり、どれだけ人のことを大事にできる時であるのかを振り返ることができます。そして、あの時は良かったのに、と過去を懐かしむことがあります。平和は、当たり前ではなく、降ってくるようなものでもありません。まずは自分の周りから平和を作っていくことが、やがては世界の平和につながることを忘れないようにしたいと思います。

コンネッショナー
Conessione

～つながり～



平和をもたらす人は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書 5章9節

6年生が沖縄・美ら島学校に行ってきました。そして、6月23日沖縄慰霊の日には、正午の時報に合わせて黙祷を捧げ、沖縄全戦没者追悼式での「平和の詩」の朗読(小学校2年生の徳元穂菜さん)の分かち合いを行いました。「平和をわすれてはいけない」と詩の中で訴える自分たちと同じ小学生の姿は、6年生の心に深く残るものがあつたようです。これから8月には、戦争を振り返り平和を考える日が私たちに与えられています。私たちがさらに大きな歴史を貫いて、私たちが希望へと招いているイエス様のみ心に近づき、平和を語り継ぎ、平和をつくり出す者になる。そのことに結び付いて行く日にしていきたいと思ひます。

5年生 尾瀬高原学校

5年生が、群馬県片品村の尾瀬高原学校に行きました。今年度は学年を半分に分け、分散して合宿を実施しました。2年生の時に1泊2日の合宿に行って以来の久しぶりの宿泊行事とあって、子ども達は笑顔いっぱい友達との共同生活を楽しましました。

がんばれ

5年生

バスで鳩待峠まで移動するまでの間、僕は素晴らしく良い気分だった。なぜなら5月の下旬だということにたくさんの雪が積もっていたり、透き通った湧き水が出ていたりとめずらしいものに出会えたからだ。

山道では他の人とすれ違う時に挨拶を交わした。まるで友達が増えたように感じて嬉しかった。そして尾瀬ヶ原で見たミズバショウ。水の上で優しく咲いていてとてもきれいだなあと考えた。

帰りはみんなへとへとで、長くて急な階段など途中で嘆きたくなくなってしまったが、皆で声をかけ合った。その時、「ゴールが見えた。」と、誰かがさげんだ。僕は達成感と喜びで胸がいっぱいになった。さらに嬉しかったことは、先に鳩待峠に到着していたグループが、「がんばれ。」と上から声をかけてくれたことだ。到着してから僕も手を振りながら後から来たグループに声をかけた。すると、皆が嬉しそうな顔になったので僕も笑顔になった。

(作文より一部抜粋)



運動会 6月10日(金) ~とどろきアリーナ~

とどろきアリーナにて、全校児童による運動会が実施されました。今年度は、6年生が運動会の役員となり、いろいろな場面で活躍しました。まだコロナ禍のため、大声での声援は避け、拍手や温かい雰囲気、みんなで運動会を盛り上げました。

心を一つに

6年生

6月10日とどろきアリーナで小学校最後の運動会が行われた。僕の心の中には2つの演技のことが強く刻まれている。まず、集団行動だ。5年生と共につくりあげる運動会の目玉。これは、89人の心が一つになってこそその演技だ。何回も練習を経てやってきた本番。直前、先生が、「5,6年男子がんばってこい!」という言葉に「オウ!」89人全員の言葉がそろった。それで僕は、これは成功するぞと思った。すると、案の定結果は大成功だった。89人の心が一つになったのだ。僕はこのことがとてもうれしかった。

そして、リレーだ。いわゆる運動会の醍醐味。何度も何度も練習し、何度も試行錯誤して考える走者の順番。僕は、リレーに一番といえるほど身を入れた。なかなか勝てず頭を悩ませて迎えた本番。僕はエンジンの声出し役を担い、「最後まで楽しく走っていこう!」と言った。僕の心にはくいはない。なぜなら全員が心を一つにし、全力を出し切った結果だったからだ。最後にコロナの中で運動会を行ってくれた先生方や、朝早くからお弁当を持って応援に来てくれた両親に感謝している。

